

石清水八幡宮駅周辺 まちづくりシンポジウム

日時

令和7年

2月16日

午前10時～12時
(午前9時30分受付開始)

場所

八幡市文化センター4階 小ホール

次第

1. 開会

2. 開会の挨拶

【第1部】

3. 基調講演 「地域の魅力を引き出す町づくりを考える ～伊勢の事例から～」

橋川史宏 氏 伊勢市出身。元株式会社伊勢福（おかげ横丁）代表取締役。

なぜ伊勢の町に人が集まるのか？その理由を説明し、地域のポテンシャルを活かした町づくりに必要なステップを考える。

4. 休憩

【第2部】 「石清水八幡宮駅周辺の未来について」

5. 石清水八幡宮駅周辺グランドデザイン案発表 八幡市長 川田翔子

6. パネルディスカッション

パネリスト

橋川史宏 氏 (一般社団法人ツーリズムみはま 理事)

岡山敏哉 氏 (大阪工業大学工学部建築学科 特任教授)

平川良浩 氏 (京阪電気鉄道株式会社 代表取締役社長)

川田翔子 (八幡市長)

7. 閉会の挨拶

8. 閉会

石清水八幡宮駅周辺グランドデザイン案

【上位・関連計画】

- 門前町等の歴史文化を活かした交流拠点機能
- 利用者の利便性を向上する交通結節機能
- まちの中心にふさわしい商業機能
- 利用者や周辺住民が集まれるにぎわい空間機能

玄関口としての交流拠点の基盤整備

新しい駅広のコンセプト構築

東高野街道の歩行者優先化

滞在環境の整備

交流を促進する設え、景色、サービス

駅前広場における明確な案内表示

【地域のポテンシャル】

豊富な
歴史資源

豊富な
住宅用地

門前町としての
歴史

広域アクセス
良好

保全された
自然環境

【地域の課題】

来街者の減少

空き家率高い

回遊性が悪い

広場空間が
少ない

商業施設が
少ない

【市民の想い】

『観光都市として駅前を活性化してほしい』

『観光客に宿泊してもらいたい』

『ICTを活用して地域の歴史や文化を紹介したい』

『鉄道駅の徒歩圏内に、豊かな自然がある』

『飲食バルなどのイベントを定期的開催』

『おしゃれなカフェでゆっくりしたい』

【社会潮流と地域の変化】

交流を生む駅前空間
駅と周辺の一体整備

スマートシティ
・技術革新

リノベーション
既存施設活用

ウォークブル
・回遊性向上

サステナビリティ
・環境配慮

インバウンド増加
多文化共生

【まちづくりの方向性】

主なターゲット：周辺住民・八幡市民・来街者

観光

歴史と体験が織りなす
何度でも訪れたくなるまち

暮らし

多世代の市民が
豊かに暮らすまち

にぎわい

市民のチャレンジや
子どもたちが創るにぎわい

交流
滞在

居心地良いオープンスペース
から生まれる憩いと交流

交通

交通拠点を起点とした
多様なモビリティ

自然
環境

環境に配慮した持続可能な
自然との共生

【各ゾーンの将来像イメージ】

門前町としての発展や、まちの成り立ちを踏まえながら、石清水八幡宮駅前を中心に、地域の特徴に合わせてゾーン分けを行い、それぞれの将来イメージを設定しました。

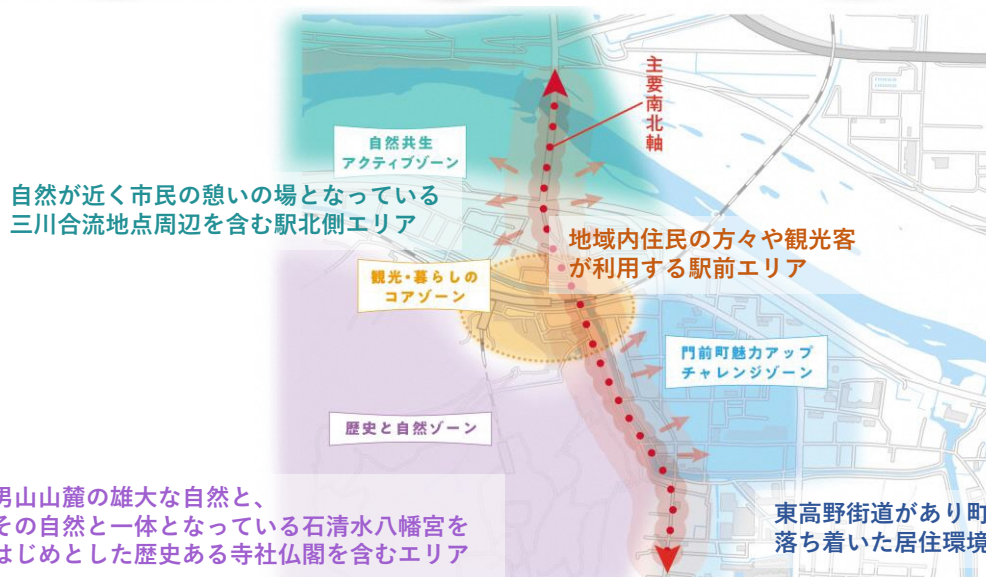
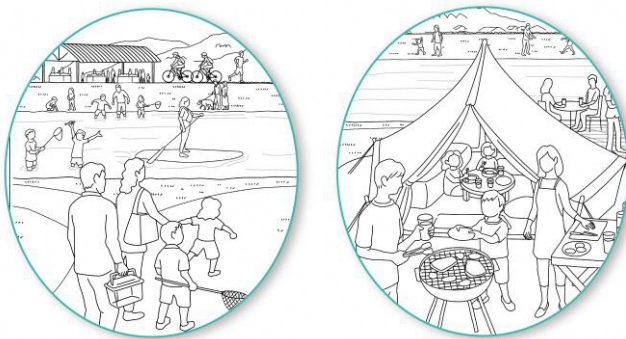
【観光・暮らしのコアゾーン】

- 多様で上質な店舗が立ち並び、市の玄関口として市の魅力が集積した魅力発信拠点となるイメージ。
- 市民の生活の質を向上させる施設（子育て支援施設、コワーキングスペース等）や、自由に居心地良く滞在できるオープンスペースなど、豊かな暮らし・おもてなしの心を楽しむことができる空間となるイメージ。



【自然共生アクティブゾーン】

- 豊かな自然を活かした、五感を刺激する多種多様なアクティビティが展開されるイメージ。
- 散歩やジョギングを楽しむなど、男山と三川合流の自然を身近に感じ、四季の移ろいを味わいながら、生活を営むことができるイメージ。

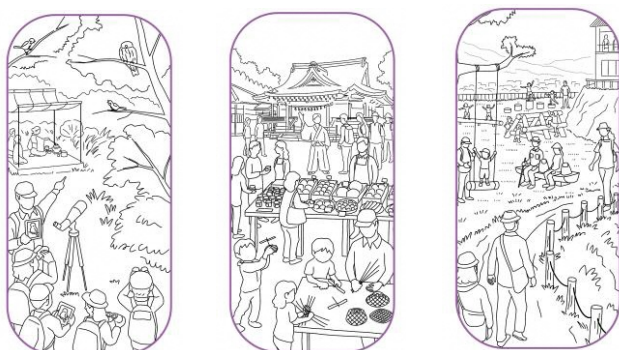


男山山麓の雄大な自然と、その自然と一体となっている石清水八幡宮をはじめとした歴史ある寺社仏閣を含むエリア

東高野街道があり町家が多く立地、落ち着いた居住環境を有する門前町エリア

【歴史と自然ゾーン】

- 先人たちが受け継いできた歴史や神仏習合のストーリーに加え、男山の自然環境や生態系を学び、未来へ伝承していくための中心的な空間となるイメージ。
- 八幡市の顔と言える石清水八幡宮における市民イベントの実施や、石清水八幡宮などの祭事との連携により、より多くの人に八幡の魅力が伝わる空間となるイメージ。



【門前町魅力アップチャレンジゾーン】

- 歴史的な街並みを活かし、古民家をリノベーションした店舗や宿泊施設などが立ち並び、住民の生活利便性向上を図りつつ、生活環境を守りながら賑わう空間となるイメージ。
- 空き家や駐車場等を活用した、誰もが気軽にチャレンジする場を提供することで、新しい魅力や地域内外の交流が生まれるイメージ。



基調講演及びパネルディスカッション登壇者のご経歴



橋川史宏 氏 一般社団法人ツーリズムみはま 理事

【主なご経歴】

1985年 三重県伊勢市の株式会社赤福で、おかげ横丁の建設・運営等に従事
2002年 三重県紀南振興プロデューサーに着任
2004年 紀南ツアーデザインセンターを設立し、センター長を兼任
2007年 おかげ横丁（株式会社伊勢福）代表取締役社長に就任
2020年 おかげ横丁（株式会社伊勢福）相談役に就任、2022年 退任
2023年 和歌山大学客員教授、一般社団法人ツーリズムみはま理事に就任



岡山敏哉 氏 大阪工業大学 工学部 建築学科 特任教授

【主なご経歴】

1989年 大阪市立大学（現：大阪公立大学）大学院工学研究科博士後期課程
建築学専攻修了、工学博士（大阪市立大学）。大学院修了後、都市
計画コンサルタントにて、数多くの都市計画・プロジェクトを担当
1996年 大阪工業大学工学部建築学科に着任
2022年 同大学副学長に就任（～2023年）
八幡市の都市計画審議会会長をはじめ、大阪・京都府下の市町の都市計画審
議会会長や委員など様々な都市計画関連のアドバイザーを歴任



平川良浩 氏 京阪電気鉄道株式会社 代表取締役社長

【主なご経歴】

1986年 京阪電気鉄道株式会社（現・京阪ホールディングス株式会社）入社
鉄道インフラ整備、駅改良並びに周辺開発に従事
2015年 同社執行役員に就任
2017年 同社常務取締役役に就任
2019年 同社専務取締役役に就任
2021年 京阪電気鉄道代表取締役社長に就任



川田翔子 八幡市長

【主な経歴】

2015年 京都市役所入庁
福祉、行財政（学校跡地活用）等の部署を担当した後、2022年に退職
2022年 参議院議長秘書
2023年 八幡市長に就任
「誰もが安心して暮らせる、優しいまちづくり」・「今、八幡だからできる
成長を掴むまちづくり」・「皆さまと一緒に考え、ともに実現するまちづく
り」を基本姿勢と位置づけ、市政に取り組んでいる